

在校生代表 歓迎の言葉

太陽の光が暖かくなり、桜の花びらが美しく舞う季節となりました。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生を代表いたしまして、心よりお祝い申し上げます。

ここで、明誠学院について少しお話したいと思います。まず、本校は、校是として「まこと」を掲げています。ここで言う「まこと」とは、「天地自然の全てのものに貫かれた絶対的な原理」つまり、「あらゆる物事において曲げられない、そして、曲げてはいけないもの」のことです。皆さんには、高校三年間を通して、自分自身の軸になるような「まこと」を見つけてほしいと思います。次に皆さんに、明誠学院での一年間についてご紹介します。春には、校内球技大会や一日研修、二年生になると、待ちに待った修学旅行もあります。クラスメイトと一生忘れられない思い出を作ることができるとでしょう。さらに、秋には、文化行事や校内弁論大会が開催されます。どちらも、自分の視野を広げるきっかけとなる行事です。そして、明誠学院最大の行事である、誠華祭文化の部・体育の部も同じ頃に行われます。ここでは、クラスだけでなく学年をも超えて盛り上がる企画が、多く用意されています。生徒、さらには、先生方も全力で参加される誠華祭は、皆さんの心に残る行事になること間違いなしです。ここまでお話してきましたが、まだまだ紹介しきれない明誠学院の魅力

力が多くありますので、今後の学校生活を、楽しみにしていただく。

今、皆さんの胸の中は、新生活への期待と不安でいっぱいかもしれませんが。もし、何か困ったり、悩んだりするようなことがあれば、いつでも、私たち在校生や先生方に頼ってください。明誠学院で過ごす全てに人にとって、居心地のいい空間になるように動いていきます。

最後に、皆さんに一つ、言葉を送らせてください。『無駄な一日とは、笑いの無かった一日のことである。』これは、有名なイギリスの喜劇王、チャールズ・チャップリンが遺した言葉です。笑顔にはその人の本当の姿が映ると、私は思っています。皆さんは高校三年間でどんな笑顔を浮かべるのでしょうか。思うような生活ができない日が続くからこそ、幸せに満ちた笑顔が絶えない、そんな毎日を過ごしてほしいと思います。

改めまして、新入生の皆さん、ご入学まことにおめでとうございます。私たちは、皆さんが入学してくるのを、心待ちにしています。これから一緒に、たくさんの思い出を作っていくみましょう。

以上をもちまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和三年 四月九日

明誠学院高等学校 在校生代表 坂本 愛実